



写真3 石組み遺構1・2 (北から)



写真4 石組み遺構3 (東から)



写真5 1区南壁土層断面 (東半)

姫路城城下町跡

—姫路城跡第345次発掘調査報告書—

報告書抄録								
ふりがな	ひめじじょうじょうかまちあと—ひめじじょうあとだい345じはっくつちょうさほうこくしょ—							
書名	姫路城城下町跡—姫路城跡第345次発掘調査報告書—							
シリーズ名	姫路市埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第40集							
編著者名	福井 優							
編集機関	姫路市埋蔵文化財センター							
所在地	〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1			TEL (079) 252-3950				
発行年月日	平成28年(2016年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ひめじじょうじょうかまちあと 姫路城城下町跡	ひょうごけんひめじし 兵庫県姫路市 しおまち104 ばんち 塩町104番地	28201	020169	34° 50′ 03″	134° 41′ 05″	2015.9.26 ～ 2015.9.30	22.01㎡	建物 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		遺跡調査番号		
姫路城城下町跡	集落跡	近世	土坑、石組み遺構	陶磁器、瓦		20150270		

例言

1. 本書は、姫路市塩町に所在する姫路城城下町跡(県遺跡番号020169)第345次調査の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、姫路市塩町104番地における建設工事に伴い、事業者と委託契約を締結し、姫路市教育委員会が実施した。現地での発掘調査は、姫路市埋蔵文化財センター福井 優が担当した。
3. 発掘調査と報告書作成の費用は、事業者の負担による。
4. 発掘調査は、平成27年9月26日から同年9月30日にかけて実施した。調査面積は22.01㎡である。
5. 本書の編集・執筆および遺構の写真撮影は福井が行った。
6. 本報告にかかわる調査の記録、出土遺物などは、すべて姫路市埋蔵文化財センターで保管している。
7. 発掘調査・報告書作成に際して、下記の方々にご援助を頂きました。記して感謝申し上げます。
黒岩 紀子、三輪 悠代

凡例

1. 発掘調査で行った測量は、世界測地系(測地成果2000)に準拠する平面図直角座標系第V系を基準とし、数値はm単位で表示している。
2. 本書で用いる標高は、東京湾平均海面(T.P.)を基準とし、使用する方位は世界測地系の座標北である。
3. 本書に掲載した地形図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(姫路北部)および姫路市基本地形図を使用した。
4. 土層の色調については、小山正忠・竹原秀雄編2003『新版 標準土色帳 25版』日本色研事業株式会社に準拠した。

姫路市埋蔵文化財センター調査報告 第40集

姫路城城下町跡—姫路城跡第345次発掘調査報告書—

編 集 姫路市埋蔵文化財センター
〒671-0246 兵庫県姫路市四郷町坂元 414番地1
発 行 姫路市教育委員会
〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地
発 行 日 平成28年(2016年)3月31日
印刷・製本 松尾印刷株式会社
〒671-0222 兵庫県姫路市別所町小林494



1区 作業状況 (南東から)

2016

姫路市教育委員会